

厚なれば洋風に油漬して露西亞濠太利及び南米に試賣したるに何れに於ても非常の賞讃を得たり。知多半島の東岸なる武豊町は開港場にして鐵道は津田町及龜崎町を經過して名古屋に通ず。

三重縣

三重縣は伊勢伊賀志摩の三國及び紀伊の一部を管す。

本縣の海岸は水産物に富み鯉節乾鰯鹽鰯及び田作りの産額は何れも全國第一に居り且つ其の地勢は平坦肥沃にして良質の米及び蠶繭藍茶を多く産す其の中央に當たり參宮鐵道に沿ひて津市發達し縣廳あり藤堂氏の舊城下にして阿漕燒及び緞子織を産す。

津より木綿に名を得たる松坂町を經宮川を渡れば宇治山田町あり山田に伊勢神宮の外宮あり宇治に内宮あり合して伊勢太神宮と稱し我が國の大廟にして人民の崇敬深し。太神宮に近き海岸なる二見ヶ浦には大小二個の岩並列するより夫婦岩の名高し。それより朝熊山を越ゆれば志摩の鳥羽町に達す良港にして商船

三重縣

學校の設あり。鳥羽より南は海岸屈曲して港灣多く遂に太玉崎に至り崎より海岸は西に折ると雖も是れ亦屈曲して港灣多く定期汽船は鳥羽より沿岸の港灣に倚りて紀伊に入る。

紀伊の部も亦海岸屈曲多く温暖なる黒潮流るゝを以て鯉漁及び捕鯨盛んに且つ内地は山林に富む尾鷲町は其の市場なり。

參宮鐵道即ち宇治山田まで赴く鐵道は津の北なる龜山町にて關西線鐵道と會す。關西線鐵道にて龜山より西行すれば伊賀に入り其の中央に伊賀川の平坦肥沃なる溪谷あり其の市場に上野町あり。

龜山の東北に東海屈指の港なる四日市市あり米を輸出し開港場となる。四日市の北に桑名町あり桑名町の近傍に萬古燒を産す。それより木曾川に沿ひて北行すれば岐阜縣に入る。

岐阜縣

岐阜縣は美濃及び飛騨二國を管す。

木曾川は我が國の大河にて灌域は平坦肥沃なれば多く良米を産し岐阜縮緬及び

地理 東海

美濃綿を産す其の中心市場なる岐阜市に縣廳あり木曾川の支流なる長良川に面し鵜飼の鮎捕に名あり又岐阜提燈を産す。岐阜の西なる揖斐川に近く大垣町あり。長良川及び揖斐川は共に木曾川に注入せるが元來木曾川の灌漑即ち美濃平原は土地低く其の北には高山連り雨量多きを以て此の平原は屢水害に罹りまた地質沖積層にして疎鬆軟弱なれば地震を感ずること甚だし而かも此の平原は良米を産し物産多く人口多く都邑も亦多ければ慘害の及ばす所も亦た甚だしきものあり。

大垣の南に有名なる養老瀧あり。大垣の西なる關ヶ原は北國地方より紀伊半島まで本州を縦斷する山脈の裂目にある要害の平地なれば昔は不破關を置き後には徳川家康公が天下分目の戦勝を得たる處なり。岐阜の東なる多治見町は陶器を産し此處より名古屋まで鐵道を通じてこれを四方に輸出す。岐阜の北東よりは多く美濃紙を産し美濃紙の産處より更に北東行すれば飛驒に入る。飛驒の大部は太平洋に南流する木曾川の灌漑及び日本海に北流する神通川及び射水川の灌漑より成れり此の如き大河系の南北に流るゝ分水脊にあれば我が國

第一の高臺をなす。高臺の中央にして亦國の中央にある高山町は山多き此の國の木材銅及び蠶絲の中心市場なり。飛驒は北國なる福井縣石川縣及び富山縣と相接す。

北 國

北國地方は福井石川及び富山の三縣なり。日本本州の中央分水大山系の北にありて日本海に沿へり即ち東海地方の正しく反對面をなす面積八百方里弱人口二百餘萬あり。亞細亞大陸より西北風日本海を經過して吹き來たり中央分水大山系に衝突して凝縮すれば雨雪甚だ多し。然れ共米及び織物を出だし水産も亦少なからず。日本海岸の常例として屈曲少なく随つて港灣少なく今日までの日本歴史には然までの影響を與へざりさと雖も對岸の大陸即ち亞伯利亞浦鹽斯德地方の發達と共に此の地方も生動すべし。

福 井 縣

福井縣は越前及び若狹二國を管す。

地理 北國

日野川の中流には數箇の大なる支流ありて肥沃なる平原を開き其の中心市場なる福井市に縣廳あり越前家の舊城下にして裏日本第四の都會なり奉書船及び羽二重を産す。福井のみならず本縣には多く羽二重を産し全國産出の殆んど半額を出だす。福井の南に當たり日野川に近き鯖江町に歩兵聯隊の營所あり。鯖江の南に當たり日野川に沿へる武生町は鎌及び墨流染を産す。武生の南木目峠を過ぐれば敦賀灣は眼前に開き來たる。敦賀灣に至りて少しく地峽と人文との關係を説かむとす。元來地峽とは陸の二大塊を連絡する陸の狭少なる部分を云ふ。されば何故に陸がかく狭まりて細く少なくなりたりやと云へば誰人も知る如く水の部分が陸に向かひて兩方より大いに侵入し來たりモウ一舉すれば兩方より水は此の狭少なる陸の一部分を崩壊して兩水は連絡するものなり。されば陸運よりは舟便を最も便とする時代において船船は兩方よりして地峽のある處までは來往すべき筈なり故に地峽の兩側には繁華なる港のあるは偶然にあらず。さて日本の本島は二大塊より成れるがこ

やま

535

れを連絡せる地峽部は即ち南の方大阪灣の深く灣入せると北の方敦賀灣の深く灣入せる處の間にある部分是れなり然れば此の地峽部の南側には大阪兵庫今の神戸等の都邑發達し北側には敦賀發達せること猶ほパナマ地峽の東側にアシピソウル港(コロン)發達し西側にパナマ港發達せるが如し。此の如くして敦賀は發達し又日本本島の地峽部を扼する處なれば歩兵第十八旅團司令部あり元來地峽を扼する者は覇を稱し得べく扼し得べからざる者は軍事上にも外交上にも人後に落つるを免れず是れ列國がスエズ地峽ニカラグ地峽將たパナマ地峽を控制せむと欲する所因なり。さて又地峽は陸の二大塊を連絡するものなれば別言すれば水の二大塊を離間するものなり故に此の離間せる陸地に運河を開鑿して水の二大塊を連絡し以て船舶交通の便を増進せむと計畫する者多きは固より其の所なりこれスエズ地峽キール地峽(獨逸)コリント地峽希臘に運河の開鑿せられバカラグ地峽將たニカラグ地峽に運河を開鑿せむと計畫する所因なり。以上を以て見るに日本の將來に於ける一事業は日本海と瀬戸内海及び太平洋とを離間するもの即ち日本本島の中央部なる地峽に運河を開鑿する事別言すれば琵琶湖を通

じて大阪灣と敦賀灣との間に運河を開鑿し本島を兩斷して船舶交通の便利を増進すること實に是れなりとす。さて又敦賀の市街の東なる金ヶ崎は尊良親王御戦死の處なり又市街の西なる松原は武田耕雲齋殉難の地なり。敦賀より西すれば若狹に入る。

若狹に入れば三方湖あり三方湖の西に當たり湖水の如き小濱灣に面する小濱町は若狹第一の都會なり若狹鰍及び若狹鯛を産す。

日野川大支流の一にして福井の北に流るゝ九頭龍川近き藤島は新田義貞公戦死の處なり。九頭龍川を上れば南に曹洞宗の本山永平寺あり更に川を上りて羽二重を織る機聲の間を過ぐれば勝山町及び大野町あり其の北方の山は銀鑛及び銅鑛多し。日野川の口なる三國町坂井港は此の灌域の門戸なり其の東より石川縣に入る。

石川縣

石川縣は加賀及び能登二國を管す。

北陸鐵道にて福井より加賀に入れば大聖寺町あり其の北には白山火山脈連り地

SECO

125

下熱未だ盛んなれば大聖寺の傍に山代及び山中の温泉あり。山代の南は有名なる丸谷燒の本場なり。大聖寺より小松町を経て海に近き沃野の中央に至れば金澤市あり犀川に沿ひ前田氏百萬石の舊城下にして裏日本第一の都會なり縣廳及び第四高等學校醫學專門學校第九師團司令部あり陶器及び銅器を産す。此の邊は肥沃にして麥一反歩の收穫は全國第一なり。金澤の北犀川の口なる金石港は金澤平原の門戸なり。金石の東に河北瀨あり此の湖より北の方北國第一の高山なる白山の雪色を眺むれば頗る壯觀なり。河北瀨に近く津幡町あり津幡町は七尾鐵道の起點にして其の地より能登に入る。七尾鐵道の終點なる七尾町は七尾灣の南にありて能登第一の都會なり其の西なる和倉は有名の温泉場なり。能登の外海岸にある輪島町は輪島塗を産す。輪島より東走れば能登半島の極端なる珠洲岬に至る。能登の南は富山縣に接す。

富山縣

富山縣は越中全國を管す。

金澤より北陸鐵道に依り本會義仲の平氏を伐ちたる古戰場俱利伽羅峠を經越中

地理 町信越

一一七

に入れ、射水川の平原開き、縣の南西部より來たる中越鐵道も亦此の平原に入り、二鐵道の交叉點に高岡市あり、銅器及び鐵器を産す。高岡市の北、射水河口に伏木町あり、開港場にして射水神通兩灌域の越中米を輸出す。

鐵道は射水川平原を経て神通川平原に入れ、鐵道の終點に富山市あり、平坦肥沃なる神通川の米産灌域の中心をなし、裏日本第二の都會となり、縣廳あり、特産は賣藥にして全國に行商し、富山の萬金丹の名世に高し。射水川及び神通川の灌域は共に米の産出多く、人口に割合すれば全國第一なり、又小豆一反歩の收穫高も全國第一に居る。射水神通の兩川を主とし、其の他の河流にも餘多く、本縣の餘の漁獲は北海道を除けば全國第一に居る。神通川の口なる岩瀬港は、此の灌域の門戸をなす。富山の東南には北國の高山なる立山あり、休火山なれば、其の峰頂巍峩として峭立し、白雪を被れる氣象は頗る奇拔なり。立山の北に當たり、富山灣に面して魚津町あり、晩春の候、立山の積雪解けて空氣に劇變を生じ、灣の西なる能登半島に反映して、爲めに厭氣樓を生じ、殊に奇觀なり、北陸鐵道は富山に終はり、富山より越後の直江津町に至るまで裏日本には一條の鐵道なし。

地理

農學士 志賀重昂

近畿

近畿地方は東海地方及び北國地方の西にありて、日本本州の西部の最も膨脹せる處に位する。即ち紀伊の半島は南方に斗出してUの字の形をなし、此のUの字の中に淀河大和川の如き大河が流れ肥沃なる平原が連り、米及び綿の産額多く、一面は琵琶の太湖に面して居り、且つ中國より東海、東山、及び北國の地方に赴くべき四通八達、十字街頭にあるので、人民は往古より此處に集合して、遂に南西部の日本即ち南日本の中心を作つたのは故あるとである。神武天皇の大和の橿原に帝居を定め玉うて以來、歴代の天皇は大和、河内、攝津、山城、近江の間に宮室を置かせ玉うた。尋いで足利氏は京都に幕府を開き、豊臣秀吉は大坂に城き、かくして京坂地方即ち上方は南日本の政治上、經濟上及び社交上の中心となつたので、言語、風俗、衣食住の情態、其の外取引の關係等、全く南日本を支配して居り、思想の細密なる事節儉

なる事、氣長き押し餅を作る事、野遊に辨當を携ふる事、大皿より小皿に飯を盛る事、朝日ビール、龍野の醤油、シミなる綿を好む事、大坂の銀行の取引、大坂の新聞紙等は、南日本全體に擴つて居る。かく日本本州の胸腹を占め、又四國及九州に對すれば、この地方に繁華なる都會繁華なる港の多いのも偶然ではない。更に歴代の帝都及び覇府のありし處なれば、到る處に歴史上の遺跡ありて、名所舊蹟多く、又日本全國の有名なる社寺はこの地方に散在し、神道は國體の淵源と最も深き關係あるものなるが、社格國幣社以上にあるものは京都及び奈良に最も多いのである。佛寺の數も京都及び滋賀を中心とせる三十里の間に最も多く、この中心を離るれば離る、程少なくなるのである。

さて近畿地方は京都大坂の二府、滋賀奈良和歌山の三縣を包括する。京都大坂の二府及び奈良縣は山城大和河内和泉攝津の五國に分かれ、これを畿内と稱ふ、往古より帝都の地多く此の間にありたるを以てかく稱ふるのである。近畿地方の面積は一千二百方里弱に過ぎざれども、人口四百五十萬に餘り、一方里につき三千八百人の割合である、即ち北日本の中心たる關東地方に次ぎ、日本全國に於て人口の

稠密なる部分である。

滋賀縣

滋賀縣は近江一國より成る。

滋賀縣は東海地方及び北國地方より近畿地方に入る口にある。四方皆山にして中央には琵琶の太湖があり、河流は皆これに注ぎ、湖岸は平坦にして米、菜種及び麻の産出多く、湖には鮒、鯉及び鮭を産する。湖岸の大津市は古への志賀の都の所在に近く、縣廳及び歩兵聯隊の營所がある。湖に沿ひて北すれば織田信長の築きたる安土がある、更に北すれば湖岸に井伊氏の舊城下なる彦根町がある、彦根の北なる米原は東海道線及び北陸線二鐵道の交叉點である。北陸線に沿へる湖港なる長濱町は豊臣秀吉の築ける處にして、濱縮綿を産する、これを過ぎて北すれば織田淺井兩氏の古戰場なる姉川が流る、更に北すれば余吾湖がある、湖南の賤ヶ嶽は羽柴柴田二氏の古戰場である。此附近は織田羽柴二氏の居城とせし處なれば、かく兩氏に關する古戰場が多いのである。其の北福井縣の境なる柳ヶ瀬には我が國第二の長隧道がある。琵琶湖の四方は山笠を、湖岸は風景明媚で、山水映發すれ

ば所謂近江八景が其の間に存在する。湖の西方よりして道は京都市に通ずる。京都に通ずる處に於て湖は窄まりて瀬田川後ち宇治川淀川となり所謂瀬田の長橋が河に架かり東海東山及び北國の地方より來たる三條の行路がこの一條の橋に集歸するを以て古來要衝となり日本の歴史を裁決する戰場となつたことが多いのである。

本縣には琵琶の大湖あるが故に淡水漁業最も盛んにして鮒の收穫は日本全國第一に居る。又淡水漁舟の多きことも全國第一である。琵琶湖の鮒は源五郎鮒として一種特別の形と風味とがある。湖岸には麻を産するを以て麻布及び蚊帳地の製造が盛んにて麻織物は全國總産額の殆ど三分の一を産出する。又本縣の人情は勤儉にして商業を勉め古來四方に行商し近江商人の名がある。かく男子は四方に行商し壯年までに行商せざる者は一人前の人間の如く見做さざる慣習あるを以て男子は四方に往來し女子は内に守るが故に女百に付き男九十八人七七の割合となり日本全國にて大概の處は男子の數女子に越ゆと雖も本縣は全くこれに反するのである。

京都府

京都府は山城丹後の二國及び丹波の大部より成る。

京都府は南日本の地形最も膨脹せる處に當たり東海道線の鐵道は近江より入り大坂に通ずる。中部には山多けれども南部は平坦にして茶を産し其の産額は全國第一である。北部は海に面するが故に水産に富み鱈の産額が多い。中國より東海及び北國の地方に行く十字街頭に平坦肥沃なる淀川の灌漑域がある。灌漑の上部なる鴨川の平地は四方に山を繞らし所謂山河襟帶の形勝がある。桓武天皇以來千百年の間歴代の帝都たりし京都は此處にありて人口四十萬府廳及び大宮御所京都帝國大學第三高等學校帝室博物館等がある。昔の平安京は鴨川と桂川との間にありて大内裏の跡は今の二條城の西北方に當たつて居る。此地は山秀で水清く人民は意匠に富みて古來美術工藝の中心であつた。今や琵琶湖の水を利用して電氣を發動し各種の工場に用ゐる。絹織物の産額は全國第一に居り西陣織友禪染及び陶器は有名である。京都の近郊は風景絶佳なる勝區に富み且つ由緒ある社寺及び名所舊蹟多くして自ら我が國文雅の中心となつて居る。

多武峰の南に櫻花で著名なる吉野がある。花の中には南朝皇居の跡及び後醍醐天皇の御陵がある故に日本人の心情に一種の感化を與ふる。櫻花の裡に正當なるも而かも劣敗せし帝王忠臣の遺蹟が多くある故に吉野は無限の感情を人に與へ一種の櫻の名所となつたのである。吉野の南は一面に山岳多く和歌山縣の境上まで連亘して居る。實に輪伐法を古來より實行せし我が國有名の山林にして、木材、銅漆及び葛を産する。

關西櫻井線及び南和線の分岐地たる王子より五條を経て紀和線と接続する。丹生河畔には賀名生行宮の遺蹟がある。紀和線の鐵道は南して紀伊即ち和歌山縣に入る。

和歌山縣

和歌山縣は紀伊の大部より成る。

和歌山縣の内部は山多く又本縣全縣の地形遠く南に斗出して温暖なる黒潮近海に流るゝを以て氣候殊に温暖なれば、林産に富んで居る。山は又鑛物に富みて居る。又縣内一體に河川多く其の灌漑及び海岸は氣候殊に温暖地味肥沃にして、米及び

五〇

養蠶を多く産する。海岸は總じて出入多し、近海には黒潮流れを以て水産物に富みて居る。縣の中部より西流する紀伊川の肥沃なる横谷の口は和歌山市がある。この横谷を背にして海に瀕するが上に紀州家の舊城下なるを以て、商工業が盛んで紀州米及び雲霧織を産する。人口七萬縣廳がある。紀和線及び南海線鐵道の接合處を成し紀和線は奈良に赴き南海線は大阪に通ずる。和歌山に近き南に和歌浦の名勝がある。其の近傍なる黒江は春鹿塗の産地にして我が國第一の産額がある。

黒江の南なる有田川の灌漑は氣候温暖なれば密柑の栽培に適し紀州密柑の産地にして又無煙炭を産する。川の發源地なる高野山に弘法大師開基の大寺がある。其の近傍は有名なる山林地にして高野槇の良材を出だし又銅を産する。

紀伊半島の海岸を廻りて南に出れば田邊町がある。半島の南部は熊野と名づけ其の南端にありて日本本州の南端を成せる潮岬に燈臺の設けがある。これより東は熊野灘である。潮岬の北東なる那智龍は其の高き八十丈我が國有名の瀑布である。那智の東なる熊野川の灌漑は黒潮の感化を受けたる有名の山林地

多ある。河水を利用して木橋を流下し河口の新宮港より輸出する。上流なる本宮町には熊野神社がある。熊野の近海には黒潮流るを以て鯨鯨等の水産物が多々ある。和歌山の東方なる加太港は加太海峡を隔て淡路島の由良港と相対し大阪湾の咽喉をなすを以て要塞が設けてある。海峡内の友ヶ島は燈臺がある。

大阪府

大阪府は播磨の東半及び河内和泉の二國より成る。大阪府は九州及び中國地方よりの水路が東海地方よりする水路と相會して「形」をなす交又點に當たると北西及び南東の二部は總じて山岳連れとも其の他は淀川大和川の肥沃なる平原で農産物が頗る多く人口亦極めて稠密である。琵琶湖より發する淀川はこの「形」の交又點に於て海に注ぐ。川の流域は即ち南日本に於ける肥沃なる平原にしてこの平原は南日本の地形の最も膨脹せる處にあたり、日本經濟界の中心にして日本第二の都會なる大阪府は「形」の交又點即ち淀川の本流に注ぐ處にある。人口九十九萬、淀川は市内を縱横し橋が極めて多い。鐵道は四方

に通じ航路は東西に通ずる實に本州と四國及び九州との通商の要衝を成し、綿糸、真田織、一閑張、摺附木及びセメントの製造が盛んである。府廳控訴院高等商業學校、造幣局砲兵工廠等あり往昔豊太閤の築ける舊城内には中部都督府及び第四師團司令部がある。

大阪の東なる四條畷は楠正行公戰死の地である。大阪の南なる安倍野は北畠顯家公戰死の處である。安倍野の南には風景明媚なる住吉神社がある。南海線の鐵道にて住吉を經大和川を過ぐれば和泉に入る。其の都會にして足利時代の巨市場たりし堺市は既に大阪の發達に伴ひて自から昔日の繁榮を見るべからずと雖も商業は今猶は盛んで鐵器織通及び綿糸の製造が亦盛んである。堺の東に仁徳天皇の御陵がある。大仙陵と稱へて我が國第一の廣大なる山陵である。大仙陵の東は河内である。其の南東なる金剛山は楠正成公の據守して關東の大軍に抗したる有名なる古戰場にして公の築ける城址今尙は残りて居る。大阪の北西なる池田町は清酒の醸造を以て有名である。

中國

中國地方は近畿地方の西にありて日本本州の西部を盡く占むる。然れども本州の幅の最も狭き處を占むるを以て本州の北部即ち奥羽及び北越地方の面積の半分にして二千六百里弱に過ぎない。併し乍ら其の文化は古代より發達し居れるを以て人口は六百五十萬にして殆ど奥羽及び北越地方の人口と同じである。即ち人口稠密の度は本州北部の二倍である。此くの如く面積は小なれども人口は多く兵庫島根山口廣島及び岡山の五縣に分かれて居る。

以上の如く中國地方は本州の西部全縣を占むるを以て本州中央の大山系は又中國地方の中部を東西へと亘りかくてこの山系は中國地方を山北と山南とに分かつ。山北は即ち山陰道と稱へ日本海に瀕し海岸線短く島嶼少なく平原少なく氣候寒くして曇天多く物産も少なし。山南は即ち山陽道と稱へ瀬戸内海に瀕し海岸線長く島嶼多く平原多く氣候暖かくして晴天多ければ製鹽の事業盛んにして米の産出が多し。

兵庫縣

兵庫縣は攝津の西半丹波の一部及び播磨但馬淡路の三國より成る。兵庫縣の管區は瀬戸内海より日本海までを縦斷し畿内山陰山陽南海の四道に跨る。故を以て處により頗る風土を異にすれども地質は花崗岩多きが故に良質の御影石を産出し内海に面する地方には製鹽業盛んに行はれ漁業の利多く又播磨の平野には良米を産する。

南日本特に京阪地方の四周には綿織糸銅摺附木地蓆を産する多く而して大阪灣は世界に對する南日本特に京阪地方の門戸となす灣の北西なる神戸市よりこれを海外に輸出し且つ砂糖鐵石油綿等を海外より輸入すれば神戸は横濱と相並びて東西の大開港場となり又南日本に於ける航路の基點となれり人口二十五萬縣廳及び第二高等商業學校あり。市の西部なる兵庫の湊川神社は補正成公を祀る。神戸の北に摩耶山登ゆ山の北なる有馬は有名なる温泉場なり鐵道は其の北方よりして丹波に入る。神戸の西なる鐵拐峰の麓に一谷あり有名なる源平の古戰場である。神戸の西方なる海岸は花崗岩即ち御影石特に多ければ岩は分解して白

妙となり青松と映じて風景明媚であるかくて須磨、摩子及び明石の名勝となり對岸なる淡路島を望みて風景が益絶佳となる。

淡路は我が國にて古來より人文の發達せる地方の間にある島にて面積小なれば我が國に於て人口の最も稠密なる島である淡路の首府洲本町に近き由良海峡は

和歌山の加太海峡と相對して大阪灣の咽喉をなせば要塞を設く。明石の西なる姫路市は播但鐵道の岐點に當たり豊臣氏の修築したる舊城あり城内に第十師團司令部を置く市は木綿及び革細工を産する。姫路の西なる龍野町

は南日本第一の醬油醸造地である。龍野の南西なる赤穂町は製鹽と義士とを以て其の名高し。龍野の北西なる白旗山は赤松氏の居城を築きし處である。鐵道

は姫路より北して但馬に入る。但馬の生野町には有名なる銀山がある。銀山の傍より朝來川が流出する河の灌

域は平坦肥沃にして但馬の動脈を成し出石町及び豊岡町は灌域の市場なり出石には出石焼を産し豊岡には柳行李を産す河口の近傍に玄武洞の奇窟と城崎に温泉とがある。但馬の西部の溪谷に良牛を産する所謂神戸牛は此處より産するの

である。山陰街道は但馬の西より鳥取縣に入る。當りて青松の日本橋中町

鳥取縣は因幡伯耆の二國より成る。當りて青松の日本橋中町

鳥取縣は海岸の地のみ稍平坦にして其の他大概山地なれども伯耆の西部は行

は隨うて平地多し。北方一帯は日本海に面し白珊瑚を産する多くこれを用ひて

種々の細工物を製す又處々より砂鐵を産する。當りて青松の日本橋中町

但馬より岩井温泉を経て西行すれば千代川灌域の市場なる鳥取市に至る。市に

縣廳あり千代川の口に賀露港あり千代川の灌域即ち鳥取平原の門戸をなして居る。

鳥取より西行して伯耆に入れば海岸に近く東郷湖がある。湖水より温泉湧き出で山陰街道唯一の養生地である。東郷湖の西に天神川が流れ其の灌域の市場なる倉吉町がある生糸及び絹を産する。倉吉の南西に方多中國第三の高山なる大山が聳ゆる休火山にして富士形なれば伯耆富士の稱がある其の裾野は廣くして草肥え軍馬の育成盛んである。其の北に聳ゆる船上山は名和長年の後醍醐天皇

山口縣の中部は山多けれども海岸は平坦にして良米を産する。北方及び西方は日本海に面し、南方は瀬戸内海即ち周防灘に面せるが故に鯛、鯽等の水産の利多く、鯛の漁獲は全國第一に居る。縣の中央なる山口町に縣廳及び第二十一旅團司令部山口高等學校がある。其の南なる三田尻町は中國海岸に於て屈指の良港である。此の邊の海岸は箱沙が好れば製鹽業が盛んである。又花崗石多ければ此の石材の産出多く、花崗岩は分解して白沙と化し、青松之れと映發するを以て、中國の海岸は一帶に特別の好風景を現はして居る。三田尻の西は長門にして多く石炭を産する。下關市は炭山地方の西方にある即ち本州の南西端にして狹窄なる河の動き海水を隔て、九州と相對し、本州と九州との間を往來する船舶は是非とも此の狹き海峡を通過せねばならぬ故に、馬關は交通の要衝に當たる故に、此の港は船舶が輻輳する。安徳天皇を祀れる赤間神社がある。其の東なる檀浦は源平の古戰場にして、天皇はこの役に歿し給うたのである。山口の北なる日本海岸に萩町がある。毛利氏の舊城下にして多く夏密柑を産する。

山口の東なる岩國町に有名なる錦帯橋がある。岩國縮を産する。岩國の北東よりして鐵道は廣島縣に入る。

廣島縣

廣島縣は安藝及び備後の二國より成る。其の東の平地は海岸にのみ限れども、土地肥沃にして氣候溫和なれば米産が多い。海岸は屈曲して島嶼多く、魚鹽の利多し。元來本縣は人口の割に土地が少なき海岸通過は山の頂上まで開いて畑として居る。斯く人口が多くて土地が少なければ、人民は外に向かひては、布哇などに出稼するものが多い。内に向かひては、陸が少なき故に海面を乾燥同様に見做し、一定の乾燥より一定の農産物を豫算して收穫する如くに、一定の海面より一定の水産物を豫算して收穫せしむる傾向なる。然れば本縣にては、牡蠣の養殖盛んにして、一定の海面より一定の收穫を期し、その業は遠く殆ど三百年前より始りて居る。山陽線の鐵道に搭じて太田川の平坦肥沃なる三角洲に入れれば、廣島市がある。畿野氏の舊城下にして人口十五萬あり、中國第一の都會である。縣廳第五師團司令部

控訴院第二高等師範學校計畫中がある。日清戦役の際大本營のありし處にして其の大本營と定められたるは、廣島に近き宇品なる港、人工に依りて完全なる良港となりたるものがありて、同戦役の際軍隊が容易に出入し得たる故である。宇品の南東なる吳は水深くして、奥行も亦深く随うて風波を避くるの便利大なれば、軍港となり、海軍鎮守府がある。髮の如き狭き水道を以て陸地と島嶼とを隔て、要害の地なれば、此處に要塞を設くる。この邊はすべて海岸の出入が多くして、島嶼も亦多ければ、海軍の練習には最も適して居り、吳の西に方る江田島に海軍兵學校がある。江田島の西方なる嚴島は日本三景の一である。竹細工を産する。廣島の東なる忠海町は四國と相對して居り、其の間には島嶼が連続し、要害の地なるを以て要塞を設けてある。忠海より以東の地は備後に屬する。糸崎は前に島嶼が連り、舟の碇泊に適ひたれば、開港場となりて居る。其の東にある尾道は中國屈指の良港にして、其の東なる鞆津町も亦中國屈指の良港である。尾道の東に福山町がある。この邊は一帶に雨量少なく晴天多く、随つて海水に鹽分多ければ、製鹽業が盛んである。

備後の北西部は中國第一の大河なる江川の灌域の上部にして、其の市場に三次町がある。町は山陽山陰兩道交通の要衝にして、裏日本即ち日本海岸の日本に舟下するの便がある。備後の東よりして岡山縣に入る。

岡山縣

岡山縣は美作備前及び備中の三國より成る。岡山縣の北半は山多けれども、南半は平坦にして多く米を産する。南部は一帶に海に面し、漁鹽の利が多い。又縣下各都邑の間には綿絲紡績及び花菴の製産多く、備前及び美作は銅鑛に富みて居る。西大川は平坦肥沃なる灌域を開き、岡山市は大阪廣島間の中央に位して山陽道の要衝に當たり、池田氏の舊城下にして中國第二の都會である。縣廳及び第六高等學校醫學專門學校がある。西大川に並んで東には東大川がある。東大川は源を美作に發し、津山町は美作の都會である。岡山は北西なる高梁町は備中の中央に位する市場である。備中には銅山が頗る多々ある。高梁の南東なる玉島町及び岡山の港なる三番より四國の香川縣へ汽

船の往復がある。前記の如く、山脈の南に、太平洋の海流が流れて、

四 四國

四國は香川、徳島、高知及び愛媛の四縣を包括し、面積一千二百方里強、我が國五大主島の最も小なるものである。併し人口は三百万ありて、一方里に對しては可なりな稠密である。北部は瀬戸内海に面し、南部は大平洋に面する。日本海より吹き來たる水蒸氣は中國山脈に遮断せられ、太平洋より吹き來たる水蒸氣は四國山脈に遮断せらるゝを以て、瀬戸内海に面する部分は一帯に雨量少なく、晴天多く、隨つて海水の鹽分も多ければ製鹽業が盛んである。これに反し、太平洋に面する部分は、太平洋より吹き來たる水蒸氣を適面に受け、此の水蒸氣は四國山脈に衝突して凝縮し、雨となれば雨量多く、山林は繁茂し、林産物は多し、製鹽は盛んでない。

香川縣は讃岐一國を成る。其の南に、瀬戸内海に面し、日本海より吹き來たる水蒸氣を適面に受け、此の水蒸氣は四國山脈に衝突して凝縮し、雨となれば雨量多く、山林は繁茂し、林産物は多し、製鹽は盛んでない。

香川縣

香川縣の南境は山多けれども、其の他は海に面し、海岸は出入多くして島嶼點在し、氣候暖日和晴天多ければ、製鹽業の盛んなること我が國第一である。又漁業も盛んである。海岸は平坦にして暖和なるを以て、砂糖、藍、煙草及び米を多く産する。然れば其の面積を以て言へば全國中にて最小の縣なれども、人口の稠密なることは東京、大阪二府の次ぎに居る。

香川縣

縣の中央なる平原の東西には河が流れ、地味肥沃にして、氣候は暖和である。其の北端は海に面し、前には島嶼が點在し、左右には半島が突出して、漁鹽の利が多い。この平原なる高松市に縣廳がある。保田織を産する。鐵道は高松よりして西方に赴き、砂糖及び烟草を産する平原を過ぎて走る。其の北なる白峯には崇徳天皇の御陵がある。天皇は流遷のまゝ、此處にて恨を吞みて崩御になつたのである。鐵道が海岸に出れば、其處に阪出町がある。花崗石の沙渚が連りて、屈指の製鹽地をなせり。阪出の西に丸龜市がある。其の南なる平地には歩兵第二十二旅團の兵營が點在し、第十一師團司令部がある。丸龜の西に多度津町がある。中國よりの定期汽船が出、天正江本州と四國とを連絡する。鐵道は多度津よりして南に折れ、其の總點なる

香川縣

二四一

平町に象頭山の金毘羅宮がある。宮は我が國の船員の最も崇敬する所なれば、大日本水難救濟會の本部がある。高松の北東方に源平の古戰場として有名なる屋島がある、其の東に五剣山がある、其の東なる志度町及び引田町を過ぐれば徳島縣に入る。縣の北岸には島嶼が點在して大艦巨船を碇泊せしむべき粟島がありて、此處に商船學校がある。粟島の北東に當たり潮流の會合點に鹽飽諸島がある、島民は總して舟の操縦に慣れ居れば海軍及び商船に多くの船員を供給する。東部の小豆島は瀬戸内海中第一の大島にして醤油を産する。其の神懸は秋日紅楓の勝と奇巖と眺望の壯濶とを以て聞ゆる。

徳島縣

徳島縣は阿波全國より成る。徳島縣の北部には吉野川が流れ平坦肥沃にして氣候暖かなれば藍、烟草、砂糖及び米を多く産し、特に藍の産出は全國第一に居り、全國産額の六割を産出する。又概して雨量少なく、氣候暖かなれば製鹽が盛んである。

四國三郎と稱へて四國第一の大河なる吉野川は、縣下を横斷して流れ長さ五十里、舟の航すべき道程二十四里、一年の漁産一萬圓に上る。河の横谷は肥沃にして我が國第一の藍の産地をなし、又米、烟草及び砂糖を産する。河の海に注ぐ處は一の港を作し、この谷を負ひて徳島市は此處に起る、即ち四國第一の都會である。蜂須賀氏の舊城下にして縣廳がある、阿波縮を産する。

鐵道は徳島より吉野川の窪谷に沿ひて西に赴く、沿道には藍の市場たる脇町がある。徳島の北には多くの干潟があり、氣候は暖和にして降雨少なければ、製鹽が盛んである。あつて齋田鹽の名が世に高い。齋田鹽の市場は吉野川の三角洲にある撫養町である。町は鳴戸海峡に臨める良港である。鳴戸海峡は潮流の急なること我が國第一にして渦を作して流れる。對岸なる淡路と共に大阪灣及び瀬戸内海の門戸をなすを以て、要塞の設けがある。

徳島の南方は海岸の出入多く、暖かなる黒潮流るゝを以て、鱒、鯉等の水産物多し、愈南すれば高知縣に入るのである。

高知縣

二四四

高知縣は土佐全國より成る。高知縣は其の地味楮を植うるに適すれば紙の製産さるゝ頗る多く其の産額は全國第一に居る。氣候暖和にして雨量多ければ山林は善く鬱茂し楠樹多きに因りて樟腦を産し又黒砂糖をも産出する。海岸頗る長くして黒潮流るゝが故に鯨の漁獲多く精良の鯨節を製する。又鯨及び紅珊瑚をも産する。南方は一帶に太平洋に面し太平洋岸の中央なる平地に高知市がある。山内氏の舊城下にして縣廳及び歩兵聯隊の營所がある。浦戸は高知の港なれども海岸の土地増加せるが爲めに海埋まり加ふるに潮流の土砂を港口に堆積するを以て船舶の出入に甚だ不便である。高知の東方にある紀貫之の任所及び長曾我部氏物興の古蹟を過ぐれば東南に突出せる室戸岬がある。暖かなる潮流近海を流れば鯨はこの岬を指し其の傍より通り抜けむとして浮游し來たれば其の近海には捕鯨が盛んである。高知の東なる仁淀川の平原は楮を植うるに適すれば其の岸なる伊野町は我が國第一の和

いん

紙産地である。仁淀河口の西なる須崎灣は四國第一の良港である。其の南西方には渡川が流れる。この邊は一體に雨多ければ河は廣くして水亦深く湖水の如き所もありて四國第二の大河である。其の灌域は濕暖にして甘蔗に適し黒砂糖を産する。中村町は其の中心市場である。河口の南に蹉跎岬がある岬は即ち四國の最南端にして海には紅珊瑚を産する。岬より西すれば愛媛縣に入る。

愛媛縣

愛媛縣は伊豫全國より成る。愛媛縣は全體に山岳多く山は礦物に富む。平地は海岸のみに限れども地味肥沃にして氣候暖和なれば農産物多し。北部は一帶に瀬戸海に瀕し南部は太平洋に通ずる。内海には鯛の漁獲多くして製鹽が盛んである。太平洋に通ずる處も亦漁獲が多い。

海岸の略中央にある平地は地味肥沃にして氣候暖和海陸交通の便が多い松山市は此處にありて縣廳及び第十旅團司令部がある。伊豫新を産する。其の東に日本三湯の一なる道後温泉がある。松山の西なる三津濱は松山平原の門戸にして

神戸との定期航海汽船がある。三津濱の前なる興居島に伊豫の小富士がある。近海には島嶼が点在し、漁業盛んなれば、毎朝この島に魚市がある。松山の北東に突出する半島の邊は氣候温暖にして且つ雨少なければ、鹽業が盛んである。今治町は其の市場である。今治の南東に石槌山が聳ゆる。海拔七千四國第一の高山である。山の北なる市川鑛山はアンチモニーの産額世界第一に居る。市川の南東なる別子銅山は銅の産額我が國第二に居る。松山の南西なる肱川の灌域は暖和にして紙蠟及び藍を産する。大洲町は其の中心市場である。大洲の南なる海岸は出入多く、島嶼点在し、太平洋と通じて暖潮來たるに因り、鯉、鯉及び鰻の漁獲多し。宇和島町は其の中心市場となり、本州及び九州との定期航海汽船がある。宇和島の北西に長く突出するは佐田岬にして岬は速吸海峡を隔て、九州の大分縣と相對する。

地理

九州

農學士 志賀重昂

大分縣

大分縣は豊後全國及び豊前の一部より成る。大分縣は火山脈が通過して居れば、温泉が多い。平原は唯だ海岸にのみ沿うて居る。壘表を産し、産額の多きと全國第一に位する。北東部は海に面して出入多く、黒潮に近ければ海産が多いのである。縣の海岸の略中央部にある平地は地味肥沃にして、水利及び交通の便利が多い。大分町は此處に發達して縣廳がある。町は戰國の頃に大友氏の居城ありし處にして、西洋ポルトガル船の初めて我が國に渡來した處である。大分の東南方は海岸の出入多く、太平洋と通じて黒潮來する故に、鰻、鯉及び鱒の漁獲多く、其の市場は自杵町及佐伯町がある。大分の北西に宇佐町の八幡宮がある。其の社の莊殿

なるを共に和氣清管の事蹟が連想し來たるを以て其の名が世に高いのである。縣下には阿蘇火山脈通過し就中祖母山の如きは海拔六千尺にして九州第一の高山である。其の他九重山鶴見岳及び豊後富士の名ある由布山がある。皆休火山にして鶴見由布二岳の下には地下熱が有名なる別府温泉を湧出せしむ。かゝる如く地下熱が盛んなるが故に縣下の山はアルミニウム等の礦物に富み又温泉が多い。且つ火山質なれば山は峭然として高く聳え谿水がこれを浸蝕して岩石の形狀が甚だ奇抜である。特に耶馬谿の如きは其の模範である。而して古來詩人書家等は此の風景奇抜の間より自ら起りたる者が多い。現時は此等の谿水を多量電氣の發動に利用する。耶馬谿は流れて山國川となり下流に平原を開く。其の海に注ぐ處に中津町がある川の西は即ち福岡縣に屬する。

福岡縣

福岡縣は筑前筑後の二國及び豊前の一部より成る。縣下の海岸一帯には平地が連亘し南西なる筑後には平原多く而して是等の平原は水利の便多く且つ地味肥沃にして氣候も暖和なれば多く良質の米を産する。

其の他は山地にして多量の石炭を包藏し其の産出は全國石炭産額の七分を占むる。縣の北海岸なる出入最も多き處に當たり島嶼の點布せる福岡灣がありて船舶の出入が便利である。此の福岡灣に臨みて平原がある數條の河流れて水利の便多く地味肥沃にして氣候暖和である。福岡市は此の灣に面して發達し市街は福岡及び博多の二部より成り黒田氏の舊城下にして縣廳及び歩兵聯隊の營所があり博多織を産する。市の東部にある諸山は石炭の産出多く概ね博多より輸出するを以て博多は開港場となつた。博多は昔時にありて唐土及び三韓に對する交通の衝に當たりたるを以て其の南東に太宰府を設けたり。菅原道真公此處に講死されたれば其の廟を建ち太宰天滿宮是れである。太宰府の東方より遠賀川が其の源を發する河の谿谷は我が國第一の石炭産地にして石炭は谿谷を敷地となせる鐵道にて北下し其の終點なる北岸の若松港及び門司市より四方に輸出する。然れば門司は開港場となり若松と共に人口の増加甚だ速いである。又此の如き便利あれば若松の傍に我が國第一の製鐵所があ

る。若松の東なる小倉市に歩兵第十三旅團司令部があり、小倉織を産する。門司は河の如き一水を隔て、本州の南端なる下關と相對し、瀬戸内海の口を扼し、要害の地なるを以て要塞の設けがある。太宰府の南方より筑後に入れば、九州第一の平原なる筑後川の灌域が開き、多量米を産する。河は九州第一の大河にして、舟運の便利がある。灌域の中央に久留米市がある。歩兵第二十四旅團司令部がある。高山彦九郎の墓がある。久留米餅を産する。久留米の南、鐵道に沿へる三池炭山は産額の多きこと我が國第一に位する。此の石炭は鐵道に依り南下して熊本縣の三角港より輸出する。久留米の南西に柳川町がある。其の西方に筑後川の出口ありて、河の西は佐賀縣に屬する。

佐賀縣

佐賀縣は肥前の一部より成る。佐賀縣の東部は筑後川の平原にして、これに接續して南部にも平地連り、多く米を産する。中部は山多くして、陶土を出し、陶器の産額が甚だ多い。海岸には牡蠣及び鱈の養殖が盛んである。

縣の南東方に當たり、海に沿ひて平坦肥沃なる筑後川の灌域開け、氣候暖かなれば「肥前米」と稱する良米を産する。佐賀市は其の市場にして、縣廳がある。鍋島氏の舊城下である。

北部の連山には多く石炭を産する。この石炭は採掘地より鐵道にて北下し、唐津港より四方に輸出するを以て唐津は開港場となつた。唐津の北西なる名古屋は、當面に壹岐及び對馬の二島ありて、朝鮮と相對すれば、豐太閤征韓の時、大本營を設けたる處である。

唐津炭山地方の南西方は多く陶土を出だし、往時鍋島氏頻りに陶業を奨励したるを以て、陶磁器の製出頗る多く、有田及び伊萬里町は其の市場にして、伊萬里港より輸出する。有田の東方及び南方には火山脈連亘し、地下熱盛んなれば、武雄温泉、野温泉がある。有田の西は長崎縣に屬する。

長崎縣

長崎縣は肥前の一部及び壹岐、對馬の二國より成る。長崎縣は、帯に平地少なく、隨つて農産物少なけれど、石炭の産額は極めて多い。

海岸の出入多きことは我が國第一にして、島嶼も亦處々に點在すれば、古來唐土三韓、イヌバニア、ポルトガル及びオランダ等の諸國の船舶輻輳來商した。又黒潮の支流流るゝを以て、鮪、鱈及び鯉の漁獲頗る多い。

九州の西方海岸即ちアジア大陸に向かふ處に當たりて、海岸の出入最も多き部分に三方山に包まれたる水深き長崎灣がある。オランダ及び支那の商船は三百年前より此の灣に來たりて交易を營めり。灣頭に長崎市あり、我が國舊五港の一つある。四近の山には石炭、樟腦及び椎茸を産し、其の近海は海産に富むを以て、この港よりこれを輸出し而して朝鮮、支那及び印度より大豆、牛皮、油、糖、綿及び砂糖を輸入するを以て、九州第一の都會となり、縣廳及び控訴院醫學專門學校がある。オランダ又は支那より習ひたる唐木細工等の製作物多く、又長崎煙草を以て有名である。長崎灣外の高島に石炭坑がある、其の外に石炭の産所頗る多く、この石炭は長崎及び島原半島なる口津より輸出すれば、口津は開港場となれり。口津の後方に當たりて煙を噴くは温泉、嶽にして、其の西麓に温泉がある、東麓なる島原町は天主教徒の亂を以て世に知らる。

三〇〇

長崎の北東なる大村灣頭の犬村町に歩兵第二十三旅團司令部がある。灣に沿ひて北西行すれば、海岸の出入殊に多き處に佐世保町がある。此處に海軍鎮守府を置く。更に沿ひて北西行すれば、河の如き海峽を隔て、平戸島がある。海峽の西岸に平戸町がある。河の如き海峽にして水深く風を遮断すれば、昔時支那人及び西洋人等の來たり交易を營みし處である。其の南西方に五個の島より成る故に、五島の名ある列島がある、又其の北方に當たり海を隔て、壹岐及び對馬の二島がある。五島は海岸の出入多く、多くの島嶼點在し、且つ黒潮流るゝを以て海産物多し。五島鯨及び五島鰯の名世に高し。對馬は朝鮮海峽を扼し、海岸の出入多くして天然の船渠の如き海灣を作れば、其の中部の竹敷は海軍要港となれり。竹敷の南に島嶼所在地たる嚴原町がある、西岸なる鹿見、佐須、奈よりは朝鮮の山を望むことを得、嚴原と共に開港場となし、朝鮮との貿易を行ふ。

熊本縣

熊本縣は肥後全國より成る。...

地理九州

熊本縣は山岳多けれども海岸には平原連り農産物多く粟の收穫は我が國第一に居る海岸及び島嶼には海産物多し。

九州西岸の中部に於て海に沿ひて平原がある。河川縦横に流れ水利の便頗る多く地味肥沃にして氣候暖かなれば肥後米なる良米を産する。熊本市は要害の地なれば加藤清正此處に城を築き後ち細川氏の居城となり現に第六師團司令部がある。市には縣廳及び第五高等學校がある。近郊に清正を葬れる本妙寺がある。熊本を流るゝ白川の口に百貫石港がある。西南の戦役に陸軍は熊本の堅城を陥れむと主力を此に用ゐたれば熊本の北西に同役中の有名なる戰場植木田原阪木葉などがある。植木の北東なる菊池川灌域の上部は良米を産し隈府は其の中心市場である。菊池氏を祀れる菊池神社がある。白川は源を阿蘇山に發する。山は有名の大火山にして舊火口は南北六里東西四里世界第一の大火山と稱へらる。火口内に集まる水は口の西方を破り落ちて白川となる。熊本の南西に斗出する宇佐半島の終點まで九州鐵道は延長し開港場なる三角が此處にある。天草諸島は三角に近き海上にありて無煙炭を産する。

南端には球摩川流れ其の上流なる平原の市場に人吉町がある。河は日本三急流の二にして人吉より河口なる八代町まで舟を通ずる。八代の八代神社は征西將軍懷良親王を祀る。球摩川は平氏の子孫の棲息するとして世に名高き五箇莊より源を發する。五箇莊の東は宮崎縣である。

宮 崎 縣

宮崎縣は日向一國より成る。宮崎縣の沿岸には平地續き氣候暖かにして黒潮流るゝを以て砂糖煙草の産出多く且つ鯉鱒に富む。然れども山亦多くして温暖多濕なれば山林甚だ多く松杉椎茸に富み椎茸の産類は全國第一に居る。九州の東海岸に當たり黒潮近く流れ氣候殊に暖かなる處に大淀川流れ東岸第一の平原を開く。神武天皇其の下部に宮居し給ひ縣廳所在地たる宮崎町此處に起てられた。此平原には砂糖を産し又其の上部よりは茶を産し四周の地は多く椎茸を産する。都城町は其の中心市場である。都城の北西に火山なる霧島連山が聳ゆる。東霧島山の中に高千穂峰がある。宮崎の北には佐土原及び高鍋の名

邑がある。高鍋の北なる細島は縣下第一の良港である。細島の北に當たり、舟楫の便ある五箇瀬川の口に當たり、灌溉の便利多き平原が開け、此處に延岡町がある。五箇瀬川の上流には太古の石器、鐵器等が尙ほ多く遺存する。天孫の降臨したまひし靈地なりと傳ふ。宮崎以南の海岸は特に暖和にして、多くの熱帯植物を見る。飫肥地方には珊瑚、玳瑁などの熱帯植物を試裁する。飫肥の西は鹿兒島縣である。

鹿兒島縣

鹿兒島縣は薩摩及び大隅の二國より成る。薩摩大隅の二國は九州の南端に相並びて突出する半島にして、氣候暖和、且つ黒潮近海に流るゝを以て、煙草、砂糖、甘藷の産出多く、又鯉、鱒の漁獲多く、薩摩煙草、薩摩節の名世に高し。縣の南海に散布せる諸島も亦多く、黒砂糖を産し、到る處に半熱帯の植物を見る。九州の南端に於て南海に向ひて開く大灣がある鹿兒島灣といふ。灣の北に當たり、櫻島の間に河の如き海峡ありて、碇泊地を作りて、の碇泊地の傍に平原が開け

縣廳所在地たる鹿兒島市が此處にある。島津氏の舊城下にして、九州南陲の大都會である。第七高等學校、造士館及び歩兵聯隊の營所がある。西郊の城山は西郷隆盛が戦死の地である。四近の地には緞織盛んにして、西方なる伊集院には朝鮮捕虜の後裔が陶器を製する。所謂薩摩燒なるものは是れである。又南方なる霧山には我が國屈指の錫礦あるを以て、鹿兒島市は緞陶器及び錫細工を以て著名である。薩摩は古來良馬を以て名ありたる處であつて、霧山の南に軍馬育成所がある。これより更に南行して薩摩半島の南端に至れば、林火山なる開闢が海より聳える。世に薩摩富士の稱ありて、南洋の怒浪と映發し、山海の風景が莊嚴である。嶽東に舊火山なる山川港がある。其の北にある池田湖は、火山作用に依りて成りたるもの、其の近傍には温泉が多い。嶽の西に坊津港がある。筑前の博多津、伊勢の安濃津と並びて我が國三津の一である。港は南洋に向かひて開き、昔時は唐船及び西洋船の來たりて、交易せし處にて、唐港と呼びたるのである。縣の北西方に川内川の平原開け、米、牛及び馬を産する。河口より當面の海上に見ゆるは、諸島にして、島には漁産が多い。

鹿兒島より近年落成したる鐵道にて鹿兒島灣に沿ひ北行すれば大隅に入る。灣の北端に平原が連り其の中心市場に加治木がある。平原の東部は國府にして海風を受け且つ暖濕なれば良質の煙草を産する。國府の鹿兒島神社は彦火火出見尊を祀る。國府より鐵道を離れ灣に沿ひて大隅半島の南端なる佐田岬に至れば暗礁多く潮流急にして且つ海霧多ければ燈臺が設けてある。佐田岬の南に當たり霧島火山脈の海中に噴起せし島嶼が羅列する。其の大なるものは種子島屋久島及び大島である。種子島は細長くして平坦である。屋久島は圓くして全島一嶽を以て成りて居る。大島は海岸の出入殊に多い。種子島は鐵砲の傳來を以て名高く屋久島は屋久杉を以て名高く大島は黒砂糖と名瀬の良灣とを以て世に名高い。大島の南は即ち沖繩縣である。

南 區

沖 繩 縣

沖繩縣は九州の南に散在せる沖繩宮古八重山の三大島と其の他五十餘の小島と

より成る。沖繩縣は西南は臺灣に面し西は清國福建省に對する。面積は東京府よりは少し

大にして人口五十萬あり南海中にありて霜雪なければ米の收穫は一年に三回宛あり甘蔗は數年間宿根す黒砂糖の産額は我が國第一にして全國總産額の半ばを占め又豚は全國總數の十分の六を占むる。沖繩縣即ち琉球諸島は大別して北部の沖繩諸島と南部の先島諸島となし氣候殊に暖和なるが故に植物には榕蘇鐵芭蕉甘蔗甘藷の類あり。動物には之珊瑚蟲の類がある。故に物産には紙布芭蕉布砂糖泡盛及び漆器がある。又ハブ即ち非常には有毒にして人を刺し殺す蝮蛇の一種の毒毒も多く海岸には珊瑚礁あれば船舶の出入極めて不便である。然れども那覇は稍良港である。那覇は琉球諸島の本島たる沖繩島にありて縣廳がある。清國福建省との交通行はれ開港場である。那覇の東方に連る平原の中心に琉球の舊王城たる首里がある。明治十三年に廢藩置縣せしまでは尙氏歴代の居城たりしが爾後第五師團の分遣隊が衛戍する。尙氏は源爲朝の子と傳ふる舜天王の後裔にして琉球は久し

我が國と支那とに兩屬したりしが、王政維新後、全く我が國の一部となつた。先島諸島は宮古群島と八重山群島とより成る。宮古群島中には宮古島が最も大である。先島群を産する。八重山群島中には石垣島及び西表島が最も大である。石垣島には多く石炭を産する。先島諸島の極西なる與那國島よりは臺灣の煙火を望むとを得べく、先島諸島の時刻は臺灣と同じく西部標準時即ち太陽が西經百二十度の子午線を通過する際を正午と定むる標準時を用ゐる。

臺灣

臺灣は我が國の西南に横たはる大島にして面積は略九州と同じく人口三百萬あり、西は近く清國福建省と相對する。日清戰役の結果、我が國の支那より得たるものである。然れば住民は支那人最も多く、其の他に蕃人(熟蕃及び生蕃)八萬内地人三萬人あり。全島を二十廳に分ち、臺灣總督府これを統治する。南部は既に熱帯圈に入り、全島は氣候暖熱にして海岸には雪を見ぬ。然れば植物は熱帯性にして、樟腦、砂糖、茶及び熱帶果物を多く産し、米及び甘藷共に一年二回の收穫がある。礦産は石炭、砂金等がある。

臺灣は臺灣島及び澎湖島より成る。臺灣島は南北に長く、東西に短く、臺北臺中臺南臺東及び宜蘭に大別する。

臺北

臺灣の北部氣候温和なる處に平原がある。其の北西と北東とは海に通じて、島中の三要港たる基隆、北東口及び淡水(北西口)がある。かくの如く海運の便利多きは、加ふるに島中第三の大河たる淡水河系はこの平原を縱横貫通し、河運灌溉の便利あれば、米及び茶の産額多く、四近の山には樟樹繁茂して樟腦の産出が多い。二港間の中央に當たり淡水河の二大支流の合する處に臺北がある。市街は城内、艦船番街、大稻埕、新界の三部に別かれ、城内には臺灣總督府、覆審法院、臺灣守備混成第一旅團司令部等がある。大稻埕には茶の取引が盛んである。臺北の北東門口にして要塞の設けがある。又内地に對する臺灣の門口となり、石炭を輸出し開港場である。其の背部に聳ゆる三貂嶺は明治二十八年近衛陸軍の上陸心を挫いたる土地にして、故能久親王殿下が草鞋を穿ちて險難を跋渉し給ひし處である。臺北の北に明の忠臣鄭成功が慨然劍を投じたる劍潭河が流るる河

上の斷崖は眺望壯麗にして、臺灣神社が建つ故能久親王殿下の英魂を奉祀する。鯤潭河は淡水河に注ぐ。淡水河は幅廣くして小蒸氣船を通じ、且つ河に沿ひて臺北より河口の淡水港まで鐵道が通ずる。港は水淺けれども臺北の北西門口となり又支那に對する門口となり、臺北平原の物産なる茶樟腦及び石炭を輸出し、臺北地方第一の開港場となり、支那の福州福建省まで海底電線を通ずる。臺北より南西行すれば新竹まで鐵道がある。

臺 中

新竹より南は西海岸にして臺中地方と稱へ、此處に輕便鐵道を通ずる。臺中地方の略中部に大甲溪の灌域がある。背部の諸山には樟腦を産出する。灌域の上部なる臺中に混成旅團司令部がある。臺中の西に彰化の名邑がある。彰化の西なる鹿港は臺中地方の門口にして樟腦を輸出し、支那と最近の距離にあるを以て支那船が常に輻輳する。

臺 南

輕便鐵道に乗りて南行し、嘉義に至れば普通の鐵道は南方に延長する。臺南の平

原は此處より開け來たり、其の市場なる臺南は鄭成功の都を奠めたる處で今は混成第三旅團司令部がある。其の西に接続し居れる安平港は臺南地方の門口となり、澎湖島と相對し島まで海底電線を通ずる。砂糖樟腦及び米を輸出し、開港場となる。普通の鐵道は愈々南行し、鳳山を経て打狗港に達する。打狗は開港場の一なり、けれども港内は狭くして水淺ければ貿易は盛んでない。この邊は一帶に河多く、其の水源は島の中央なる新高山に發する。山は海拔一萬三千尺あり、我が國第一の高山である。鳳山の南東なる社寮は明治七年に征臺軍の上陸せる處である。社寮の南なる恒春は臺灣の南端に近く、我が國にて平均温度の最も高き處である。

臺 東

臺灣の南端なる南岬を廻りて東海岸に出づれば、卑南大溪の平原が開け、溪口は港となり、其の傍なる卑南新街に臺東廳がある。四近の地に四十六蕃社がある。其の最大なる牡丹蕃は明治七年に征臺軍の主として征伐せしものである。北に蕃菜溪がある。溪口に花蓮港がある。卑南及び花蓮を除く外、本部は所謂生蕃地にして島中最も未開の地に屬する。

宜蘭地方

臺東の北即ち東海岸の北部を宜蘭地方と稱する。中央なる平原の市場宜蘭に支那がある。其の南なる蘇澳は臺灣の東岸唯一の錨地である。本部は水陸の交通稍便利なれば熟蕃が多い。

澎湖諸島

臺灣と支那大陸との間なる臺灣海峡は東海黃海及び日本諸島に入るの關門をなし海峽の中央に澎湖諸島がありて鎖鑰となり又軍事上澎湖は臺灣の外郭となり而して澎湖島と漁翁島とは一大灣を相抱き水深く風波穩かに安全なる錨地をなし而も近海には颶風多ければこの島は最も大切なる位置にありて馬公媽宮は海軍の要港となり要塞を設け澎湖廳を置き諸島を統治する。花嶼は我が國の極西に位するものにして支那の福建省を距ること三十餘里のみであるかく臺灣海峡の右翼をなし福建省は其の左翼をなせば福建省は我が國が支那をして不割讓地なることを約せしめたる處である。

中 等 教 育

北區

北區は北海道及び千島列島より成り其の面積は九州の二倍半に當たり又四國の五倍半に當たれども人口百十萬内アイヌ人壹萬七千に過ぎぬ。もと蝦夷と稱へアイヌ族の居るのみなりしが足利時代より漸次に内地人が移住し明治維新後北海道と改稱し十一國に分ち今は北海道廳を置きて全部を治むる。近海には黒潮の支流幹流共に流るゝを以て鮭鱈鯡鱈昆布等殊に多い。内地は未開なる處多きを以て山林に富み平原は漸次開墾中にして内地と異りたる農産物が多い。又多く石炭を産す。

北海道本地

北海道本地は渡島後志膽振日高十勝釧路根室北見天鹽及び石狩の十個國より成る。蝦夷山脈樺太山系は菱形なる北海道本地を北より南へと縦斷し千島火山脈は東より西へと横絶し兩山脈は十字形をなして全島の脊骨を作り大河小河これより四方に射出し全島を太平洋斜面域日本海斜面域及びオホーツク海斜面域の三部

話 誌

に分かてり。

太平洋斜面域

太平洋斜面域は渡島國の東半より起る。渡島の東半に當たり津輕海峽を隔て、本州に對し太平洋と日本海とを連絡する邊に當たり水深くして山を背にし、各方面の風を遮る一灣がある。函館港は此處にあり、舊五港の一である。世界に對する北海道の門口をなし、北海道の主産物たる海産物硫黄及び石炭を輸出し、北海道に産せざる米茶及び石油を輸入し、全島第一の都會にして、控訴院がある。津輕海峽の關門なれば要塞の設がある、附近の五稜廓は戊辰の役に名高き處である、其の濠は水清ければ冬期に際し製氷の業が盛んである。五稜廓より北行すれば駒ヶ岳の休火山が聳ゆる。駒ヶ岳の西北なる森港は噴火灣に臨み、對岸の室蘭との間に汽船が往復する。船上より仰ぎ見れば左に惠山及び駒ヶ岳があり、前には有珠及びマカリヌプリがあり、右には登別及び樽前があり、六火山の秀色は眼前に落つる實に噴火灣の稱ある所因である。灣の東半よりは膽振國に屬する。噴火灣の入口を扼する良港の室蘭は炭鐵鐵道の起點なれば、多く石炭を輸出する。

山名

又四近の開墾地に産する農産物を輸出する。港内は狭けれども噴火灣の關門をなし、要害の地なれば海軍鎮守府未開墾を置く。室蘭より愈東行すれば、日高國に入る。

山名

沙流川の下流は、全島中アイヌ人の最も多く住む處である、然れども獨りこの地のみならず、到る處アイヌ人は腦力の遲鈍なると、惡疾との爲めに劣敗して愈減少する。沙流川の東なる新冠川の灌域は、地廣く草肥え改良種の馬を産し、御料牧馬場となる。この邊より以東の沿岸は寒流の感化を受け、昆布及び鱈を多く産する。沿岸を南東行すれば襟裳崎がある、北海道本地の南端(渡島を除く)にして、四近は暗礁と海霧多ければ燈臺を設く。襟裳崎を廻りて北すれば十勝國に入る。十勝川は北海道第三の大河にして、大なる支流多く、随つて灌域も廣く、所謂十勝平原を開き、近年移住民の戸口が繁殖する。此の平原の中央に當たり、大支流の南北より本川に入る邊に帯廣がある。河西支廳の所在地である、更に北東行すれば釧路國に入る。

釧路國の北には千島火山脈が來たり、跡・左・登・雄・阿・寒・及び・雌・阿・寒・岳なる火山の間に

地理 千島連

一六七

火山作用より成れる阿寒嶺路及び馬周の三湖がある。跡佐登は活火山にして我が國第一の産額ある硫黄坑がある。傍らの釧路湖より釧路川が發源し、この硫黄は川に沿へる鐵道と河運とに依りて河口の釧路まで南下して輸出すれば釧路は特別輸出港となり又支廳がある。釧路川は阿寒川の大支流を合はせてV字形をなし其の灌域廣く本道屈指の開墾地たる釧路原野を開く。釧路以東の海岸は寒潮流れ北海道第一の昆布産地である。厚岸は海より開き來たる湖の岸にある碓泊地にして湖内には牡蠣が特に多い。厚岸より海岸を東すれば根室國に入る。根室平原は十勝及び釧路平原より連続する。此等の平面のみならず、ヨーロッパ第一の工業國たるベルギーの面積の半よりも廣い。以て北海道開墾の前途多望なるを知るべし。北海道本地の東端に根室港がある。前は千島諸島に臨み、脊には花咲灣を控へ、港内水結の際は船舶は花咲灣に碇泊す。地形頗る便利なるを以て、函館に次ぎて太平洋斜面第二の都會となり、根室支廳がある。根室の西に西別川がある。西別川の本場にして水源に蛙の産卵場がある。西別以北の川はオホーツク海に入る。

オホーツク海斜面

オホーツク海斜面は根室國の北半より北見國までを包括する。北海道本地の北東端なる知床岬と北端なる宗谷岬との間はオホーツク海に面し、風波強烈なれば海岸に沙丘を作り、河流これに支へられて水を溜め、猿澗湖等を開く。猿澗湖の四邊はオホーツク海斜面第一の平原にして、其の東なる網走は、同海岸隨一の港である。太平洋斜面よりの道路と日本海斜面よりの道路とは此處に於て相會し、網走支廳がある。此邊は氣候寒冷にして蒸發氣少なければ、我が國にて雨量最も少ない地方である。猿澗湖の北西枝幸の近傍には近年多く砂金を發見した。砂金地方の北西方に突出するは宗谷岬にして、岬以南は日本海斜面に屬する。

日本海斜面

宗谷岬は十里の海峡を隔て、ロシア領樺太島と相對し、海峡は鯨及び海鼠に富み、稚内は其の市場にして、稚内支廳がある。稚内の西南に當たり海上に聳ゆるは北見富士の稱ある利尻島である。利尻島の傍に禮文島がある。鯨、昆布及び海鼠多し、實島の稱がある。稚内より南行すれば天鹽國に入る。

天鹽川は北海道第二の大河にして、屈曲多ければ、流勢緩くして舟行に便利に、又灌
 域も廣く有望の開墾地である。鮭及び鱈の産多く、河口の天鹽より輸出する。河口
 より南行するに隨ひ、鯨及び鱈の漁業愈々多く、留萌及び増毛の二港よりこれを輸
 出す。増毛に増毛支廳がある。更に南行すれば石狩國に入る。
 石狩川は長サ百十里、我が國第一の長河にして、北海道にては父川と呼び、天鹽川を
 母川と稱ふ。石狩川は鮭を産すると我が國第一にして、中流以下には小蒸氣船を
 通ずる。又屈曲多く、且つ大支流多ければ、灌域も亦廣くして、我が國三平原の一た
 る石狩平原を開き、土地肥に灌漑に便に、北海道開墾の中心となる。地勢に依り石
 狩川灌域を上部、中部及び下部の三に分かつ。
 神威古潭の激流以上は石狩川灌域の上部たる上川地方にして、山脈の間には肥沃
 なる高原開け、天府の稱がある。第七師團(舊屯田兵)の兵營は此の間に配置され、離
 宮は形勝の地に指定せらる。日本海斜面及び太平洋斜面より來たる鐵道は、此處
 に分岐して、北は天鹽平原に入り、南は十勝平原に入る。兩鐵道の交叉點に旭川が
 ある。上川平原の市場にして、上川支廳がある。

ハ八

神威古潭以下、江別川の合流點までを石狩川灌域の中部となす。幌内は我が國屈
 指の炭山にして、日本海斜面及び太平洋斜面の港まで鐵道を通じて、此の石炭を輸
 送する。炭山よりの鐵道と、兩斜面よりの鐵道と、上川地方への鐵道と、三線の相交
 又する處に岩見澤がある。開墾地の中心市場にして、空知支廳がある。
 江別川の合流點以下は石狩川灌域の下部にして、北海道拓殖の主腦である。大支
 流なる豊平川の所在は、地廣く、土肥え、水利に便である。札幌、此處にありて、北海道
 廳、札幌支廳、第七師團司令部、札幌農學校等がある。街衢の井然たるは、京都に優り、
 新氣象あるは、アメリカの新開地に似て居る。四近の地には、麻、麥及び甜菜を栽培
 し、麻布、麥酒及び砂糖を産する。
 石狩川の灌域及び炭山地方より來たる鐵道の終點に當たりて、日本海に突出する
 岬は高島岬である。岬の下は風を遮りて水深く、鯨及び鱈が群り來たる。此處に小
 樽港がある。石狩平原の門口をなし、石炭、農産物及び海産物を輸出し、函館に次ぎ
 北海道第二の開港場となり、小樽支廳がある。高島岬以西より積丹岬に至る間は
 鯨漁が盛んである。

積丹岬以南は山岳連亘し、石炭及び硫黄を産する。硫黄山及び石炭山の間は平野にして開墾地多く海岸まで開き來たりて居る。海岸は鯨及び鱈漁盛んである。岩内港が此處にありて、岩内支廳がる。岩内より南すれば後志川の灌域が開け、更に南行すれば鯨及び鱈の群り來たる一港灣がある。灣上に壽都ありて、支廳がある。壽都より西行すれば、奥尻島を望む。更に西行すれば、鯨及び昆布の産多く、其中必市場なる江差に檜山支廳がある。江差より南行すれば、北海道本地の南端なる白神岬に達する。岬は本州と最も近く相對する。其の傍なる福山は蝦夷を靖定せし松前氏の舊居城である。即ち北海道の舊首都にして、福山支廳がある。

千 島

千島は北海道本地の東より北東を指して羅列する三十二の火山島より成る。列島は火山島なれば、海岸は斷崖多く、寒流に洗はれ、風亦強きが上に氣候寒冷なれば、樹木少く、海豹、鰐、昆布が多い。列島の中に、最も本地に近きは國後にして、

最も大なるは擇捉である。擇捉島の沙那港に沙那支廳がある。擇捉の東北に得撫がある。其の北なるホッスル海峡を以て千島を分かち、海峡の南を口千島といひ、其の北を奥千島といふ。奥千島の阿頼度島は帝國の極北である。占守島は帝國の極東にして、ロシア領カムサッカ半島と相對する。

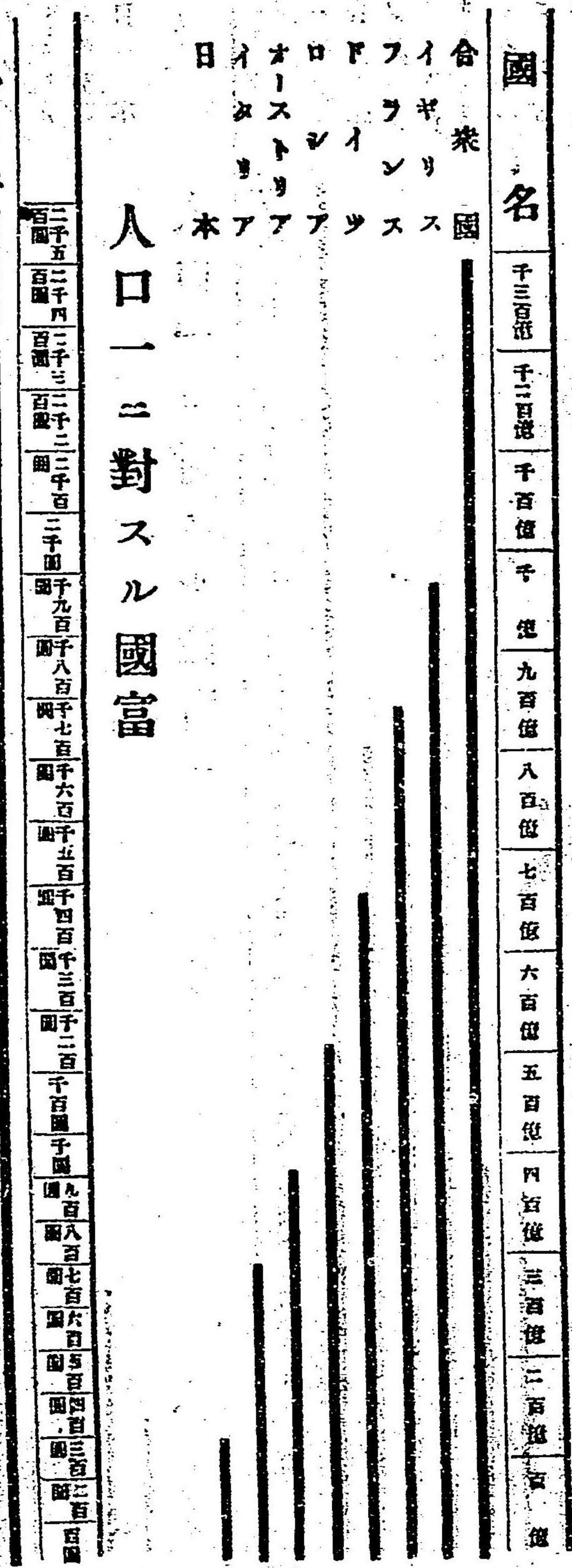
結 論

我が日本帝國は、以上説きたる如く、其の大部分は世界の最も温和なる氣候に居り、南端は亞寒帯と熱帯とに入るを以て、寒温、熱三帯の動物及び植物を産し、物産の種類多きこと世界に多く類を見ざる所である。礦物も亦乏しからず。即ち製造工業に必要な石炭の産出が多い。又國土の地勢急峻なるを以て、河水も亦急激にして、電氣の發動及び工業に利用することを得べく、以て大いに製造工業を興起するに足る。しかのみならず、動物物の種類は多く、風景も優美にして、春花秋葉も亦多様なるを以て、國民の美術心を喚び起し、美術工藝に巧みならしむ。又海國なるを以て、水産に富み、海味に飢えたる四億の支那人は、近く海を隔て、群り居れば、

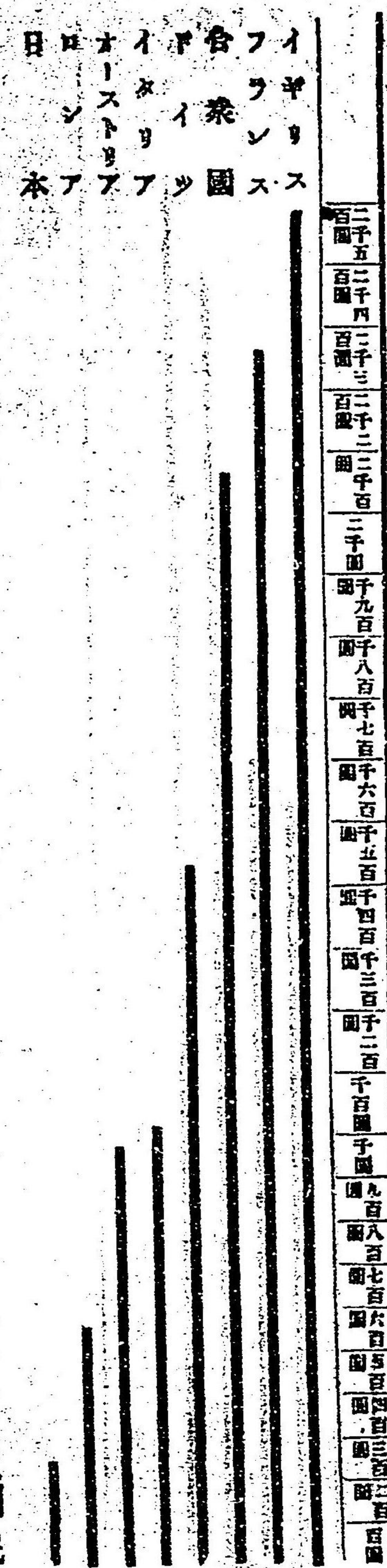
其の需用は將來益々増加するであらう。又海岸線の長さことも世界第一に居り、航運及び貿易に最も便利である。國の位置より見れば、今日以後人力を以て開發するの餘地最も多きアジア大陸に接するのみでなく、更に將來世界の運命を支配すべき太平洋を控へ、最も有爲多望の位置にある。アジア大陸にはシベリア大鐵道成り、太平洋の東には世界の富を致せるアメリカあり、ニカラヅ運河亦漸く竣功せむとする。乃ち依りて以て大西洋及びヨーロッパを連絡することを得べく、又太平洋の南にはオーストリアが大海に發達したる上に、南洋無數の諸島の遺利も亦漸次開發されむとし、太平洋電線も二條沈設せられたり。我が日本帝國は此くの如き新鋭なる氣運の交叉點にあるを以て、國民たるものは宜しく發奮して以て此の氣運に投じなければならぬのである。

上に述べたるが如く、我が國は有爲多望の間にありと雖も、而も一たび國勢の如何なるかを顧みれば、世界の列國と比較しては實に其の最下位にあるのである。すなはち

國 富



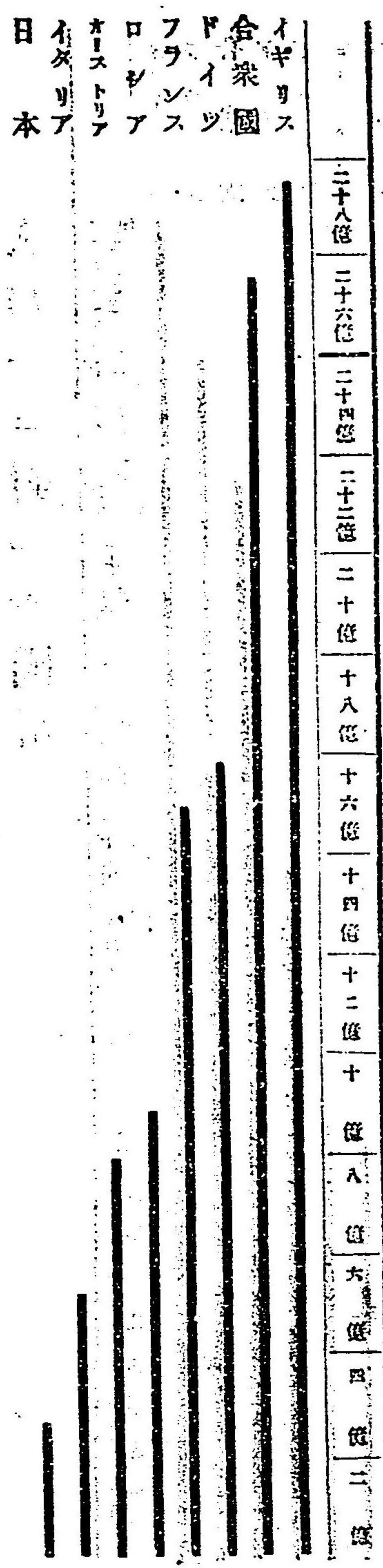
人口一ニ對スル國富



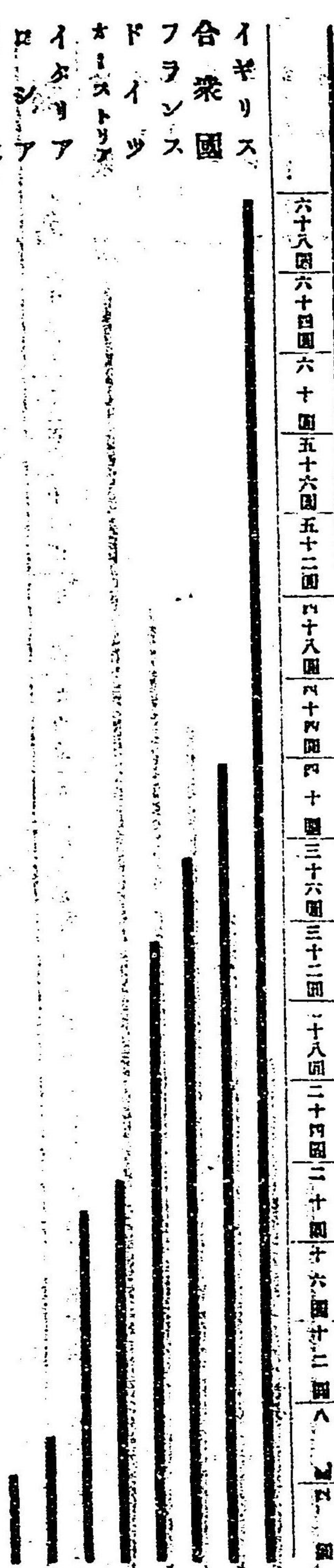
以上の如く國富及び人口一に對する國富の割合が最下位にあるのみでない國民

の生産力も亦最下位にあるのである。即ち

輸 出



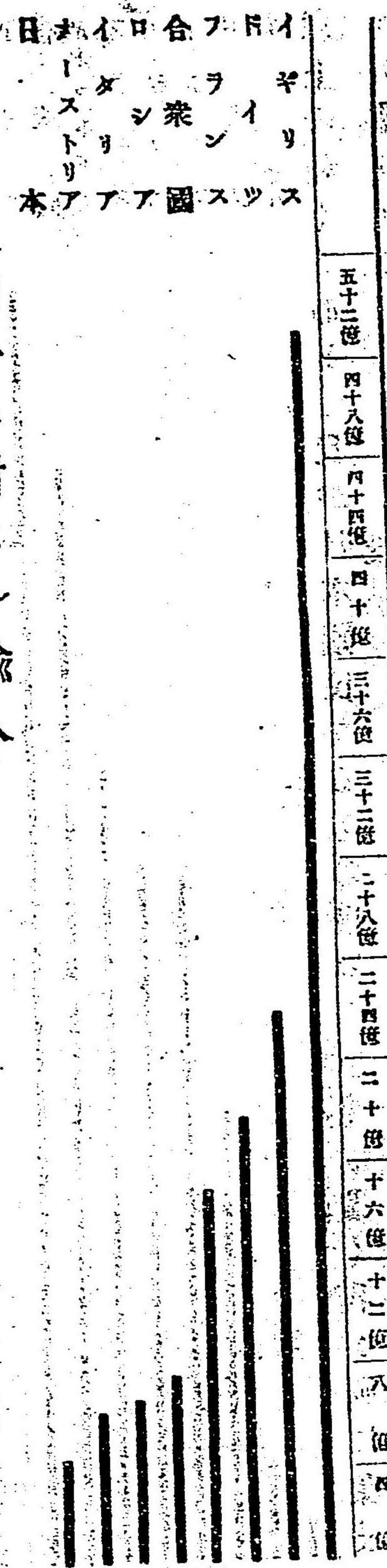
人口一ニ對スル輸出



輸出既に以上の如く列國の最下位にある。更に顧みて輸入は如何と見れば亦同

じく最下位にあるのである。即ち

輸 入



人口一ニ對スル輸入



貯 蓄

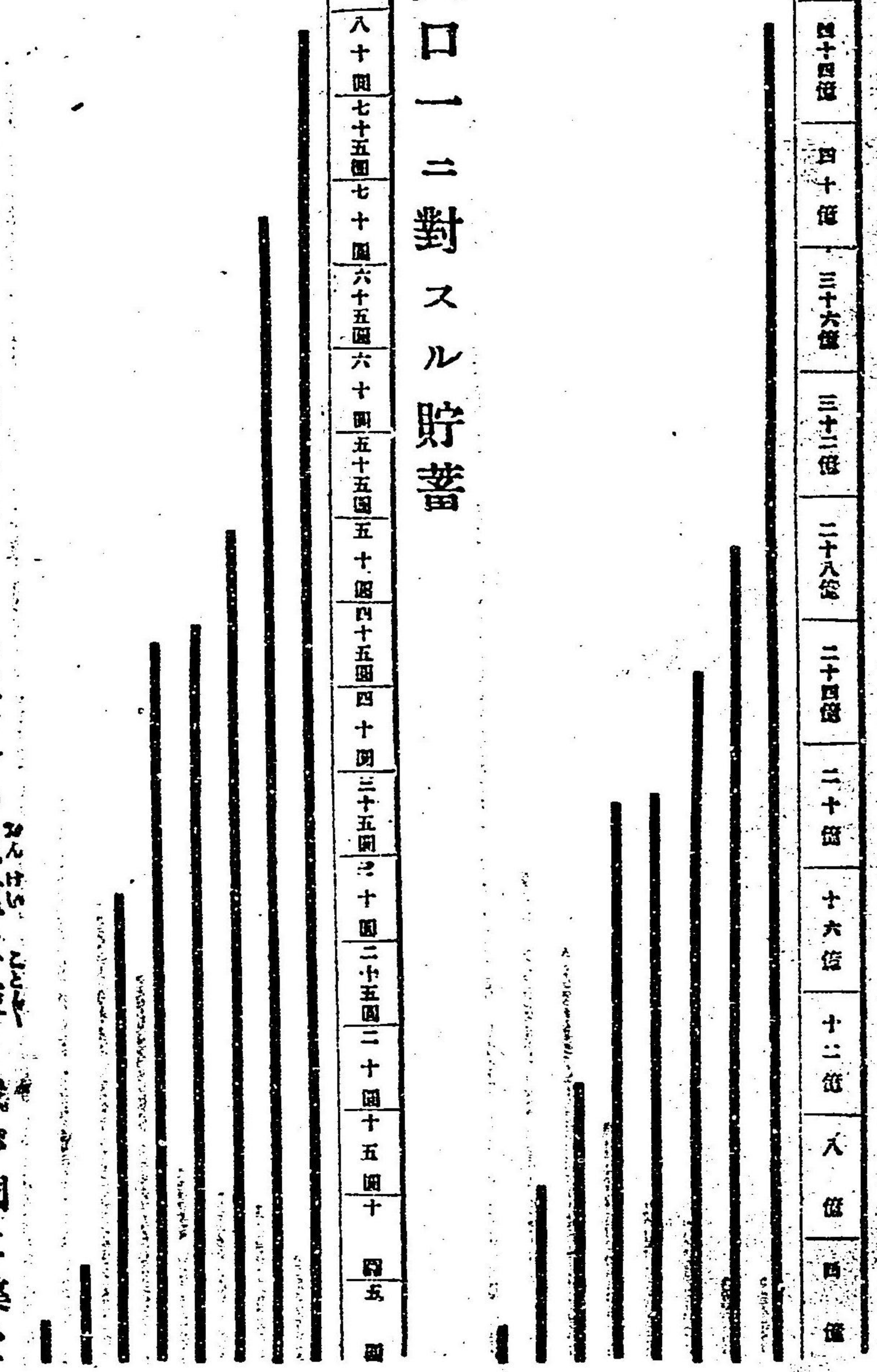
増進 結論

42/10/36

(((育 教 等 中)))

合衆國
ドイッ
オーストリア
イギリス
フランス
イタリア
ロシア
日本

人口一ニ對スル貯蓄



即ち以上の如くである。我が日本國民たるもの世界の恩恵は盡く我が國に集まり而かも國勢の此くの如く最下位にあるを顧みれば豈に奮ふ所なかるべしや。

(完)

佛國大文豪 ジューマ作 長田秋濤譯

小説 つとむきい娘

全壹冊 洋装頗る美本
紙數四百八十餘頁
正價金八拾五錢 郵稅五錢
特製金壹圓郵稅金拾四錢
三色版寫真版數面挿入

十九世紀の大文豪ジューマが「愛すべき人にして世の愛する所とならざりし薄命の人」に向て無限無涯の同情の涙を濺ぎかけ同時に「愛すべき人を愛せざる社十九世紀五大傑作の一」として「會」を責めたるの傑作は歐米十八ヶ國に歡迎翻譯せられ

和唱導せられたるもの 偶々極東法曹界の一問題 となれりとも雖も其眞價は 茲に濶歩して 江湖に現はる先之を難せし熱涙無平將た文學眼無平 速に本書を繕て 其是非を判せよ

再版發行

發行所
發賣所

東京牛込早稲田
電話番町三七四
東京市日本橋區
本町三丁目

早稻田大學出版部
博文館

合衆國
ドイツ
オーストリア
フランス
イギリス
イタリア
日本

人口一ニ對スル貯蓄

八十四億 四十億 三十六億 三十二億 二十八億 二十四億 二十億 十六億 十二億 八億 四億

ドイツ
フランス
イギリス
イタリア
日本

即ち以上の如くである。我が日本國民たるもの世界の恩恵は盡く我が國に集まり而かも國勢の此くの如く最下位にあるを顧みれば豈に奮ふ所なかるべしや。

(完)

再 版 發 行

佛國 大文豪
ヂューマ作 長田秋濤譯

小説 つよむき嬢

全壹冊 洋装頗る美本
紙數四百八十餘頁
正價金八拾五錢 郵稅主錢
特製金壹圓郵稅金拾四錢
三色 版寫真版數面挿入

十九世紀の大文豪ヂューマが「愛すべき人にして世の愛する所とならざりし薄命の人」に向て無限無涯の同情の涙を濺ぎかけ同時に「愛すべき人を愛せざる社會」を責めたるの傑作は歐米十八ヶ國に歡迎譯せられ

和唱導せられたるもの 偶々極東法曹界の一問題 となれり 雖も其眞價は 社會の認識する處となり 茲に濶歩して

江湖に現る先之を難せし熱淚無乎 將た文學眼無乎 速に本書を繕て 其是非を判せよ

發行所
發賣所

東京牛込早稲田
電話番町三七四
東京市日本橋區
本町三丁目

早稻田大學出版部
博文館

13
489

